

I 病院報告の概況

1 在院患者数

令和4年の年間の在院患者延数は4,238,738人(前年4,280,422人)で、新入院患者数は110,699人(同107,854人)、退院患者数は110,804人(同108,083人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると11,613.0人(同11,727.2人)で、前年に比べ114.2人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,405.2人(総数の81.0%)で、前年の9,440.4人に比べ35.2人、精神科病院では2,207.8人(同19.0%)で前年の2,286.7人に比べ78.9人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では4,736.5人(総数の40.8%)で、前年の4,661.3人に比べ75.2人増加しており、精神病床では3,530.8人(同30.4%)で、前年の3,632.1人に比べ101.3人減少している。結核病床では、11.7人(同0.1%)で前年の16.4人に比べ4.7人減少している。

なお、療養病床では3,222.4人(総数の27.7%)で、前年の3,369.3人に比べ146.9人減少している。

2 外来患者数

令和4年の年間の外来患者延数は3,444,085人(前年3,400,630人)である。1日平均に換算すると患者数は9,435.8人(同9,316.8人)で、前年に比べ119.0人増加している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では8,721.2人(総数の92.4%)で、前年の8,587.2人に比べ134.0人増加し、精神科病院では714.6人(同7.6%)で前年の729.6人に比べ15.0人減少している。

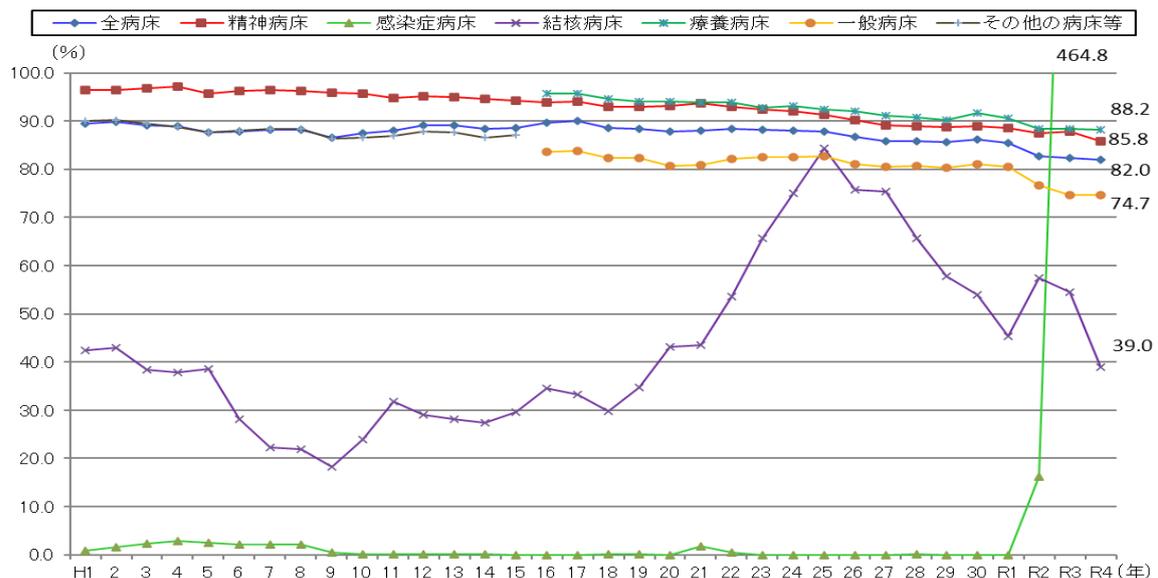
3 病床利用率

全病床における病床利用率は82.0%(前年82.3%)で、前年に比べ0.3ポイント減少している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が88.2%(同88.3%)で高く、次いで精神病床が85.8%(同87.8%)となっている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染症病床の利用率が464.8%(同200.2%)と著しく増加した。

保健所別では、杵藤保健所が87.4%と高く、佐賀中部保健所が78.4%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。